

## 「丁寧に納得のいく仕事」が当社の自慢です！

## 防音パネル製造で信頼と実績 遠藤製作所



◀円筒形をした特殊防音パネル「ハイシャット」は、2010年3月に開通した大橋JCTほか、首都高速道路の約6割に施工されています



## 全国で7社、関東で2社の特殊分野

遠藤製作所は1941年(昭和16年)創業。日用品の筥金具の製造販売からのスタートでした。1979年に新工場を建設し、プレス板金加工へ事業拡大。1989年(平成元年)から道路関連の防音パネルの製造を開始。取引先メーカーの協力会社として、高い信頼と実績を誇ります。同社を訪ね、代表取締役社長・遠藤亘持(のぶよし)さんにお話をうかがいました。

**増田** 高速道路などを走行中によく見かける道路脇の「壁」。安全性・快適性・環境保全に欠かせない防音パネルを製造している会社か、わがまち上尾にあったのですね！

**遠藤** 騒音の調査研究・設計・施工は取引先メーカーおよび各専門業者が担当。当社では試作の段階から参画し、製造から現地納品までを担当します。防音パネルを製造している業者は、全国でも7社、関東では2社



▲遠藤社長は昨年11月、第16期議員に選任。多忙な時間を縫って、商工会議所の事業活動にも取り組んでいます

しかありません。特殊な分野だけに競争は激しく、技術開発・コスト削減・納期短縮・品質向上に全社一丸となって尽力しています。製品の良し悪しに関わる品質検査においては、国交省やネクスコによる規格基準を遵守し、社内に品質管理部門を開設して1品ずつ検品を徹底しています。

## 圏央道、首都高、新東名にも導入

**遠藤** 気候風土や周辺環境によって製品仕様も異なります。亜鉛メッキ鋼板やアルミ板が主流ですが、海岸沿いや融雪剤を散布する豪雪地帯にはステンレス鋼板を使用することがあります。「遮音・防音ができて、安全走行でき

▶鋼板の供給・セッティングから型抜き・プレス加工・成形まで、一貫してオンライン化した統一パネルライン。最長4mまで対応できる



▲2010年3月に開通した圏央道・桶川北本IC〜川島IC区間にも、同社で製造した防音パネルが使われています

る」のは、あくまでも最低基準。環境や景観問題にも深く関わる部分ですから、取引先メーカーの要望を製品化するのには至難の業です。よりよい製品を提供し、防音パネルを通じて少しでも社会貢献できればと願っています。

**増田** 新年にあたり、抱負をお願いします。  
**遠藤** 圏央道、首都高速道路に続き、昨秋から新東名高速道路(第二東名高速道路)にも当社の防音パネルが導入されています。とくに新東名は、当社でモデル製作を担当した思い入れのある事業で、2012年度開通を目指す静岡地域(長泉沼津IC〜引佐JCT)の工事も本格化しますので、社内も活気づいています。公共事業といっても縮小・減速傾向にあり、安穩としてはいられません。これまでも空港や防衛省の関連施設(飛行機やホバークラフトの格納庫)に納入実績がありますが、空調設備関連など、新たな需要を開拓することが今後の重点目標です。

## INFORMATION

- 株式会社 遠藤製作所  
上尾市上野537  
TEL.048-725-2061(代)  
<http://www.myfavorite.bz/endo/>
- 聞き手／増田愛弓さん